

I 第21週の発生動向 (2007/5/21~2007/5/27)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所管内において、第19週から**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
4. インフルエンザについては、減少しています。型別については、迅速診断キットにより、弘前保健所管内でA型:30人、B型:2人、八戸保健所管内でA型:2人、B型:5人、むつ保健所管内ではA型:4人、B型:9人が報告されています。

II 第21週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ	13	0.93	32	2.13	7	0.50	3	0.43	27	3.00	13	2.17	95	1.46	-43	1	0.50	12	1.00
(72) RSウイルス感染症															-1				
(73) 咽頭結膜熱	11	1.22	4	0.44	1	0.11	1	0.20	19	3.17	7	1.75	43	1.02	2			11	1.38
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.78	26	2.89	2	0.22	5	1.00	9	1.50	4	1.00	53	1.26	-33	1	1.00	6	0.75
(75) 伝染性紅斑	55	6.11	55	6.11	4	0.44	9	1.80	7	1.17	26	6.50	156	3.71	-65	6	6.00	49	6.13
(76) 水痘	14	1.56	5	0.56	6	0.67	2	0.40	10	1.67	13	3.25	50	1.19	20			14	1.75
(77) 手足口病			1	0.11									1	0.02	0				
(78) 伝染性紅斑			3	0.33	4	0.44					5	1.25	12	0.29	-1				
(79) 突発性発疹	7	0.78	5	0.56	5	0.56	1	0.20	3	0.50	7	1.75	28	0.67	12	1	1.00	6	0.75
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	5	0.56	7	0.78			1	0.20					13	0.31	-4			5	0.63
(83) 麻疹(成人を除く)	1	0.11											1	0.02	1			1	0.13
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.33	1	0.11	22	2.44			4	0.67	2	0.50	32	0.76	-6			3	0.38
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					2	1.00			1	0.50			3	0.27	-3				
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					4	4.00	8	1.33	7				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む)

- (9) 結核(二類全数把握疾患) 東地方保健所: 2人、八戸保健所: 1人、青森市保健所: 1人 (19年計: 39人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (19年計: 4人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 五所川原保健所管内: 1人、むつ保健所管内: 1人 (19年計: 3人)
- (46) ウイルス性肝炎(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内: 1人 (19年計: 1人)

感染症の窓

成人麻しん (はしか)

麻しんウイルス感染症のうち、15歳以上の人が感染した場合を成人麻しん(基幹定点把握疾患)、それ以外を麻しん(小児科定点把握疾患)と言います。4月中旬から関東を中心に感染が広がっていますが、県内の感染症発生動向調査では、基幹定点病院からの報告はありません(図)。しかし、青森県内の大学において、感染者が確認され、休講措置が取られています(2007/05/29報道発表)。本疾患の感染力は、非常に強く、飛沫などにより感染が広がります。感染予防対策は、ワクチン接種です。予防接種については、最寄の保健所に相談することをお勧めします。

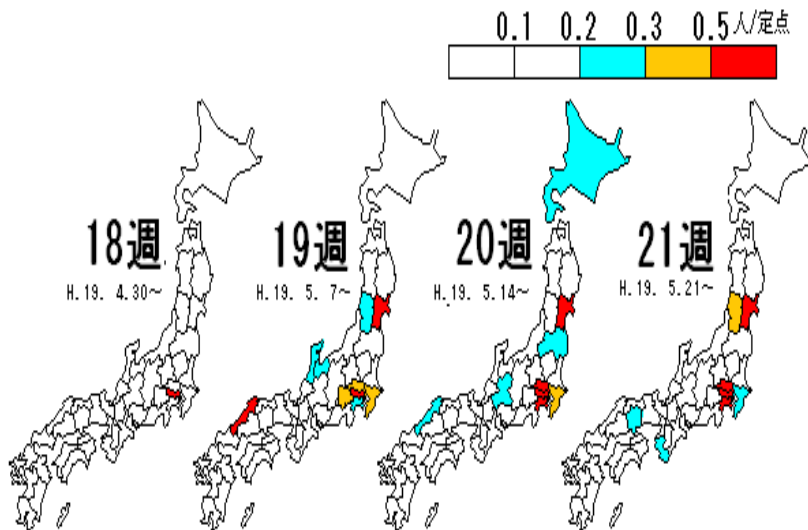


図 全国における成人麻しん発生情報(第18週から第21週まで)